

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	平和を祈念するための硫黄島特別対策事業		担当部局庁	社会・援護局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	援護企画課外事室		梅原 一豊	
会計区分	一般会計		施策名	IV-8-2 戦没者の遺骨の帰還等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	米国管理地域における戦没者の遺骨の送還慰霊等に関する件(昭和27年10月23日閣議了解)		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	政府一体となって硫黄島からの遺骨帰還を推進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	従来の取組を抜本的に見直し、科学的手法による壕、御遺骨の調査を拡大するとともに、自衛隊の協力や若者を含めたボランティア等のより多くの参加を得て、人員、重機等を大幅に拡充し、3年程度集中的に遺骨帰還事業を実施する(一部補助事業 補助率10/10・1/3)。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算				1,160	982
		繰越し等					
		計				1,160	982
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業の目的である戦没者遺族の慰藉による成果については、定量的な把握、指標設定が困難		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	硫黄島における作業日数		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
				-	-	-	(240)
単位当たりコスト	23年度新規事業であるため省略		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	遺骨帰還等旅費	12	12	実績に併せ単価の見直しを行ったため。			
	遺骨帰還等庁費	1,103	925				
	遺骨帰還等派遣費補助金	45	45				
計	1,160	982					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	東日本大震災の影響により、当初予定より事業実施が遅れているが、必要な経費の精査に努め適切に遺骨帰還事業を実施していくこととする。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり	本事業は、硫黄島からの遺骨帰還を推進するための経費であり、事業目的の達成のために引き続き実施する必要があるが、事業実施に必要な経費については、過去の実績を踏まえ、精査の上で予算要求に反映すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			